（第2号様式）

久米島第 2696 号
令和5年 3月16日

沖縄県教育委員会教育長　殿

沖縄県立久米島高等学校
校長　　仲吉　健一
（公印省略）

令和4年度県立学校学校評議員の運営状況について（報告）

令和5年2月10日付け教県第1995号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1　日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和4年7月15日	場所	本校視聴覚教室	出席状況	3名／5名
第2回	日時	令和4年12月14日	場所	本校視聴覚教室	出席状況	2名／5名
第3回	日時	令和5年3月15日	場所	本校視聴覚教室	出席状況	3名／5名

2　学校評議員に求めた事項

・授業及び校内を観察後、学校の課題点等についての指摘と改善策の助言について依頼
・本校の現状や課題に対する取組等を報告し、その方策等についての助言を依頼
・評議員（警察、JA久米島、農業（製糖工場）、FM久米島、元久米島魅力化員）の立場から、学校の活性化に向けた取組への提言を依頼
・地域住民の立場から、地域の活性化や今後の本校への人材育成等の要望、情報等の提供を依頼

3　学校評議員の意見

・大学や専門学校、就職した卒業生を呼んで、 進路講話を行ったほうが良い。
・久米島高校出身の著名人（財界人・文化人・政治家）等を呼んで、講話を行ったほうが良い。
（就職などのパイプにもなる可能性もあり）
・卒業生と連絡が取れるのネットワーク（LINE等）があれば、進学・就職で役に立つのではないか。
・地域の中学からの進学数を高めるためにも、離島留学生を地域の中学校へ派遣して、久米島の魅力を伝えることも良い。
・職場体験の場がもっとあれば、より将来の夢や目標に向かって頑張れると思う。

4　学校運営に反映した事項

・いじめ等の早期発見・早期対応のために、投書箱を設置した。
・家庭学習の習慣化を促す方法として、今年度からスタディーサポートを活用した方法を模索している。
・久米島高校の魅力化の一環として、園芸科と企業がタイアップした取組を考察している。

5　課題その他

・コロナ禍の影響もあり保護者が学校行事等に参加する機会が減り、アンケート結果にも”分からない”と回答する保護者が増えている。結果、正しい評価や意見等の集約が難しくなってきている。今後は以前同様に地域に開かれた学校運営を行う必要がある。